



## 五月の風～カナとミカ～

道徳の学習では、初めて連続作品を学習しました。「五月の風」は、同じ出来事を“カナ”と“ミカ”の双方の立場から記述した作品でした。自分はどうあるべきかを考え、自分から行動した“カナ”と、カナへの連絡を怠り、最後まで言葉がけできなかった“ミカ”の対比から、人間としての生き方や友達との向き合い方を深く考えるきっかけになりました。人間は誰しも弱さを持っていますが、同時に乗り越えようとする気高さも持っています。中学生の今だからこそ、考えてほしい内容です。

### ～カナ～ 編

主人公・カナは友達のみかたち吹奏楽部のメンバーと買い物をするようになっていた。しかし当日、待ち合わせ場所にほかのメンバーは現れなかった。その夜カナは、ミカから電話で、待ち合わせ場所の変更がスマホのグループメッセージで行われていたことを聞く。落ち込んだカナは、スマホを持っていないことを悔やむが、高校生まで我慢しようと自分で決めたことを思い出す。そして、これからも、ミカと友達としてつき合っていこうと考える。次の朝、カナは自分からミカに声をかける。

今日の学習を通して、自分で決めたことを、誰かのせいにはしてはいけないということがわかったし、これまでの自分は自分の意見を大切にできずにいたので、これからは自分の意見を大切にしたいなと思いました。

今まではあまり自分の意見をはっきり言うことができなかったけど、今日の学習をして自分の意見や相手と話し合うことは大切なんだなと思いました。そしてこれからは、自分の意見を持っていきたいです。

自分の気持ちと相手の気持ちは同じぐらい大切にしないといけないと分かった。自分は相手の意見にのっかりがちなので、自分の意見も出せるようにしたい。

今日の学習を通して自分の気持ちを考えて尊重することが大切だということがわかった。カナは、傷ついても相手の気持ちを考えて話をしていたけど、自分は無かったことのように話すことは難しいと思いました。

今日の学習を通して、どんなに仲の良い友達でも嫌だなと思ったら気持ちを伝える事が大切ということが分かった。友達の意見を聞いて、自分の気持ちだけでなく相手の気持ちも大切にする事が重要という考えもあると知った。

## ～ミカ～ 編

主人公・ミカは、友達のカナたち吹奏楽部のメンバーと買い物することになっていた。その前夜、スマホのグループメッセージのやりとりで集合場所を変更することになったが、このことをミカは、スマホを持っていないカナに伝えなかった。そのため、当日カナは待ちぼうけをする。その夜、カナから電話があり、ミカはしどろもどろに言い訳をする。次第にカナに対して罪の意識を覚えるようになったミカは、カナの信頼に応えるとはどういうことなのかを考えるようになるのであった。

友達に嘘の情報を伝えたり、裏切ったりせず、時間を大切にしていきたいです。また、自分だったら、本当のことを伝えます。

人に流されると、他の人を巻き込んで後々辛いことになることがわかりました。また、今まで自分は、友達に伝えていないこともあったので最後までしっかりと伝えるようにしていきたい。

今日の学習を通して、相手の気持ちや考えを想像しながら反応することが大切だということがわかりました。これまでの自分は何も気にせず話をしている時もあったので相手の気持ちを考えながら行動したいなと思いました。

友達の意見を聞いて心から信頼できる友達になるには、話すだけでなく、情報を伝え合う事も大切という考えもあると知った。

今日の学習を通して信頼し合うことの大切さがわかりました。友達に嘘の情報を伝えたり、裏切ったりしないようにしていきたいです。また、自分だったら、本当のことを伝えます。

## 生け花体験がありました



12月6日(水)に蒲刈会館で行われた生け花体験に、2年生から木村さんが参加しました！お花と向き合いながら作品を仕上げることができました！来年はみなさんも参加してみては！？

## 教室整備の一コマ



ある日の帰りの会に、教室の後方にある個人ロッカーの整理を行いました。時には時間をとって整理整頓をすることも必要ですね！とてもきれいになりました！！